



# Sun™ Mainframe Security Facility ご使用にあたって (Solaris プラットフォーム用)

---

Release 1.1.0

Sun Microsystems, Inc.  
[www.sun.com](http://www.sun.com)

Part No. 819-2513-10  
2005 年 6 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、AnswerBook2、docs.sun.com は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun™ Mainframe Security Facility Release Notes for Solaris Platforms  
Part No: 819-1528-10  
Revision A



# 目次

---

|   |   |
|---|---|
| はじめに  | v |
| Sun Mainframe Security Facility Release 1.1.0 | 1 |
| 一般的なインストール情報                                  | 1 |
| 運用上の重要事項                                      | 2 |
| ファイアウォールの背後の配置                                | 2 |
| Sun MSF Release 1.0.0 からのアップグレード              | 2 |
| Sun MSF 高可用性データサービスの使用                        | 2 |
| 機能拡張  | 3 |
| セキュリティーリポジトリとしての LDAP ディレクトリのサポート             | 3 |
| 構成ユーティリティー                                    | 3 |
| セキュリティーサーバーを管理するための「プロンプト非表示」のオプション           | 3 |
| リポジトリのパスワードを更新するための新しいユーティリティー                | 4 |
| ユーザー定義のリソースタイプ                                | 4 |
| Sun MSF HA データサービス                            | 4 |
| 以前のリリースからの変更点                                 | 5 |
| コマンド名の変更                                      | 5 |
| パスワード暗号化                                      | 5 |
| 既知の問題と制約                                      | 6 |

製品マニュアル 6

索引 7

# はじめに

---

このマニュアルでは、Sun Mainframe Security Facility Release 1.1.0 (Sun MSF) の機能拡張および変更点について説明します。

---

## UNIX コマンド

このマニュアルには、システムの停止、システムの起動、およびデバイスの構成などに使用する基本的な UNIX<sup>®</sup> コマンドと操作手順に関する説明は含まれていない可能性があります。これらについては、以下を参照してください。

- 使用しているシステムに付属のソフトウェアマニュアル
- 下記にある Solaris<sup>™</sup> オペレーティングシステムのマニュアル

<http://docs.sun.com>

---

# シェルプロンプトについて

| シェル                         | プロンプト                |
|-----------------------------|----------------------|
| UNIX の C シェル                | <i>machine_name%</i> |
| UNIX の Bourne シェルと Korn シェル | \$                   |
| スーパーユーザー (シェルの種類を問わない)      | #                    |

---

# 書体と記号について

| 書体または記号*         | 意味                                     | 例   |
|------------------|--|---|
| AaBbCc123        | コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。 | .login ファイルを編集します。<br>ls -a を実行します。<br>% You have mail. |
| <b>AaBbCc123</b> | ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。    | % <b>su</b><br>Password:                                |
| <i>AaBbCc123</i> | コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。          | rm <i>filename</i> と入力します。                              |
| 『 』              | 参照する書名を示します。                           | 『Solaris ユーザーマニュアル』                                     |
| 「 」              | 参照する章、節、または、強調する語を示します。                | 第 6 章「データの管理」を参照。<br>この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。          |
| \                | 枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。 | % <b>grep</b> '^#define \<br>XV_VERSION_STRING'         |

\* 使用しているブラウザにより、これらの設定と異なって表示される場合があります。

---

## 関連マニュアル

| 製品  | タイトル  | Part No.    |
|---|---|-------------|
| Sun Mainframe Security Facility   | 『Sun Mainframe Security Facility 管理者ガイド』                            | 819-2359-10 |
|   | 『Sun Mainframe Security Facility 高可用性 (HA) データサービス (Sun Cluster 用)』 | 819-2512-10 |
| Sun Mainframe Transaction Processing<br>ソフトウェア                                  | 『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』                | 819-2514-10 |
|   | 『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 構成ガイド』                 | 819-2515-10 |
|   | 『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』                | 819-2516-10 |
|   | 『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア インストールガイド』             | 819-2517-10 |
|   | 『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア メッセージガイド』              | 819-2518-10 |
|   | 『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』           | 819-2519-10 |
|   | 『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 障害追跡とチューニング』           | 819-2520-10 |
|   | 『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア XA リソースマネージャーの使用』      | 819-2358-10 |
| 『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア ご使用にあたって (Solaris プラットフォーム用)』      | 819-2521-10   |             |
| 『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 高可用性 (HA) データサービス (Sun Cluster 用)』 | 819-2522-10   |             |

---

---

## Sun のマニュアルの注文方法

日本語版を含め、Sun のマニュアルは次のサイトで、表示や印刷、または購入ができます。

<http://www.sun.com/documentation>

---

## Sun 以外の Web サイト

このマニュアルで紹介する Sun 以外の Web サイトが使用可能かどうかについては、Sun は責任を負いません。このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、広告、製品、またはその他の資料についても、Sun は保証しておらず、法的責任を負いません。また、このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、商品、サービスの使用や、それらへの依存に関連して発生した実際の損害や損失、またはその申し立てについても、Sun は一切の責任を負いません。

---

## Sun の技術サポート

この製品に関して、このマニュアルでも解決しない技術的な質問がある場合は、次のサイトからお問い合わせください。

<http://www.sun.com/service/contacting>

---

## コメントをお寄せください

マニュアルの品質改善のため、お客様からのご意見およびご要望をお待ちしております。コメントは下記よりお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。

『Sun Mainframe Security Facility ご使用にあたって (Solaris プラットフォーム用)』,  
Part No. 819-2513-10



# Sun Mainframe Security Facility Release 1.1.0

---

このマニュアルでは、Sun Mainframe Security Facility (Sun MSF) Release 1.1.0 について説明します。この章の内容は、次のとおりです。

- 1 ページの「一般的なインストール情報」
- 2 ページの「運用上の重要事項」
- 3 ページの「機能拡張」
- 5 ページの「以前のリリースからの変更点」
- 6 ページの「既知の問題と制約」
- 6 ページの「製品マニュアル」

---

## 一般的なインストール情報

Sun MSF Release 1.1.0 は、Solaris OS の Release 9 および 10 で認定されています。

Sun MSF には、Java™ Release 1.4 (最新パッチ適用済み)、または Release 1.5 (JDK 5.0) がインストールされている必要があります。

セキュリティーリポジトリとして次のいずれかの製品を選択する必要があります。

- Oracle® リレーショナルデータベース、バージョン 9.2 または 10g
- IBM DB2 UDB リレーショナルデータベース、バージョン 8.1
- Sybase SQL Server、バージョン 12.5
- Sun Java System Directory Server、Release 5.2 以降

---

## 運用上の重要事項

この節では、Sun MSF の運用に関連する情報について説明します。

### ファイアウォールの背後の配置

Sun MTP を Sun MSF とともに使用する場合にデータの漏えいを回避するために、セキュリティサーバー、セキュリティリポジトリ、Sun MTP 領域など、Sun MSF のすべてのコンポーネントを共通のファイアウォールの背後に配置する必要があります。さらに、使用されるソケット接続でのエクスポージャーを回避するために、内部の安全機能を十分に整備する必要があります。これによって、保護されていないネットワークでのソケットポート「sniffing」が除外されます。

### Sun MSF Release 1.0.0 からのアップグレード

Sun MSF 1.0.0 (パッチレベルは問わない) からアップグレードする場合、既存のリポジトリデータベースを最新リリースで使用するために `msfconvdb` ユーティリティを実行する必要があります。

### Sun MSF 高可用性データサービスの使用

Sun Cluster アーキテクチャー、データサービス、Sun MSF ソフトウェア、および Solaris OS に関する知識が必要です。Sun Cluster とともに使用するボリュームマネージャーソフトウェアに関する知識も必要です。詳細については、Sun Cluster のマニュアルを参照してください。高可用性ソリューションの計画および実装には Sun Cluster コンサルタントの協力が必要です。

---

## 機能拡張

この節では、Sun MSF ソフトウェアの Release 1.0.0 以降に入った機能拡張について説明します。

### セキュリティーリポジトリとしての LDAP ディレクトリのサポート

Sun MSF は、セキュリティーリポジトリとしての LDAP ディレクトリの使用をサポートします。Sun MSF は Sun Java System Directory Server 製品で認定されています。セキュリティーリポジトリとして LDAP ディレクトリを構成する場合の詳細については、『Sun Mainframe Security Facility 管理者ガイド』を参照してください。

### 構成ユーティリティー

Sun MSF の構成ユーティリティーによって、Sun MSF 環境の構成作業を簡単に行うことができます。この構成ユーティリティーは `msfconfig` コマンドによって起動します。『Sun Mainframe Security Facility 管理者ガイド』の「Configuring Sun MSF」の章を参照してください。

### セキュリティーサーバーを管理するための「プロンプト非表示」のオプション

`msfserver` 管理コマンドには、「プロンプト非表示」の新しいオプションがあり、コマンドを実行するユーザーの UNIX ユーザー ID が使用されます。この新しいオプションを使用するためには、Sun MSF リポジトリに、セキュリティーサーバーの `ObjectReference` リソースへの読み取り権と実行権が付与された UNIX ユーザー ID の主体エントリが含まれている必要があります。詳細については、『Sun Mainframe Security Facility 管理者ガイド』を参照してください。

## リポジトリのパスワードを更新するための新しいユーティリティー

Sun MSF のこのリリースには、Sun MSF キーファイルの `adapterAdmin` および `adapterUser` パスワードを更新する `msfupdkey` ユーティリティーが導入されています。Sun MSF セキュリティーリポジトリとして使用するデータベースまたはディレクトリに対するパスワードをサイトのデータベースまたはディレクトリ管理者が変更するときに、このユーティリティーを使用します。『Sun Mainframe Security Facility 管理者ガイド』の「Updating Repository Passwords」の節を参照してください。

## ユーザー定義のリソースタイプ

Sun MSF は現在、ユーザー定義のリソースタイプを完全にサポートします。詳細は、『Sun Mainframe Security Facility 管理者ガイド』を参照してください。

## Sun MSF HA データサービス

Sun Cluster 用の Sun MSF 高可用性データサービスがこのリリースでサポートされます。この機能によって、Sun MSF は高可用性環境で運用できるようになります。高可用性エージェントのインストールおよび構成については、『Sun Mainframe Security Facility 高可用性 (HA) データサービス (Sun Cluster 用)』を参照してください。このマニュアルには、Sun MTP を使用する場合に環境を構成する方法に関する情報も記載されています。

---

## 以前のリリースからの変更点

この節では、Sun MSF ソフトウェアの Release 1.0.0 以降に入った変更について説明します。

### コマンド名の変更

名前が変更された Sun MSF コマンドがあります。

| 古い名前                | 新しい名前     |
|---------------------|-----------|
| ConvertDBP1toP2     | msfconvdb |
| SecAdmin            | msfadmin  |
| MakeAnAdministrator | msfinitr  |
| SecurityServer      | msfserver |
| SecurityLogs        | msflog    |

### パスワード暗号化

パスワード暗号化の変更の結果、開き中括弧 ( { ) をパスワードの最初の文字としてできなくなりました。SecAdmin コマンドの createPrincipal または resetPassword で開き中括弧を使用すると、パスワードが拒否されて、次のメッセージが表示されます。

```
ERROR:Password format is not acceptable for
principal:principalname
```

---

## 既知の問題と制約

SunSolve<sup>SM</sup> の Web サイト <http://sunsolve.sun.com> で提供される Sun MSF パッチを定期的にチェックし、推奨されているパッチを適用してください。Release 1.1.0 に対するパッチの基本番号は 120078 です。

ワイルドカードリソースについて Sun MSF のマニュアルで説明されていない (ID 6262262)

今後のパッチリリースで、更新されたマニュアルが提供されます。

---

## 製品マニュアル

Sun MSF のマニュアルは、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』から削除されました。現在の Sun MSF のマニュアルは、『Sun Mainframe Security Facility 管理者ガイド』です。

# 索引

---

## L

LDAP ディレクトリ, 3

## S

Sun Cluster, 2, 4

Sun MSF 1.0.0 からのアップグレード, 2

Sun MSF と Sun MTP の使用, 2

## あ

暗号化、パスワード, 5

## い

インストールについての情報, 1

## こ

高可用性データサービス, 2, 4

構成ユーティリティ, 3

コマンド名, 5

## は

パスワード暗号化, 5

パスワード、リポジトリ, 4

## ふ

ファイアウォール, 2

## ま

マニュアル, 6

## ゆ

ユーザー定義のリソースタイプ, 4

## り

リソースタイプ、ユーザー定義の, 4

リポジトリのパスワード、更新, 4

リポジトリのパスワードの更新, 4

